

教員業績

マツモト トモヤ

氏名 **松本 智也**

| | |
|------|-------------------|
| 職名 | 助教 |
| 専門分野 | 日本近世史、日本思想史、日朝関係史 |
| 学位 | 博士(文学) |

学術論文・学会発表等

| | |
|-----------|--|
| 2018年 1月 | (学術論文)「対馬藩儒満山雷夏の自他認識——「藩屏」論と「礼」論より」(単) <『立命館文学』655号> |
| 2019年 10月 | (学術論文)「近世後期日本知識人の日朝関係認識—文化度通信使との接触を通じて—」(単) <『歴史評論』834号> |
| 2019年 11月 | (学術論文)「18~19세기 對馬 지식인들의 ‘藩屏’ 론 -역사서 편찬에 보이는 자아인식의 형성-」(単) <『韓日関係史研究』66号> |
| 2022年 3月 | (学術論文)「文化易地聘礼をめぐる徳川幕府の対応——諱・上使称号・衣服についての林述斎の発言を手掛かりに」(単) <『日本思想史研究会会報』38号> |
| 2024年 11月 | (学会発表)「近世後期における日朝関係構築の模索——学問所儒者の筆談想定問答集を通して」<日本思想史学会大会> |
| 2025年 3月 | (学会発表)「19世紀初頭の通信使と朝鮮認識——学問所儒者の筆談想定問答集を中心に」<2025 동아시아한국학 학술회의 - 동아시아 국제관계사의 새로운 시각> |
| 2025年 10月 | (学会発表)「近世後期における朝鮮認識と西洋」<2025年度日本史研究会大会 近世史部会共同研究報告> |
| 2025年 11月 | (学術論文)「19세기 초 통신사와 조선인식 -幕府 學問所 儒者の 筆談想定問答集을 중심으로-」(単) <『한국학연구』79号> |
| 2025年 11月 | (学会発表)「조선통신사의 오사카 역지 사행 구상과 조선 인식」<2025년도 한국한문학회 동계 국제학술대회> |
| 2026年 3月 | (学術論文)「近世後期における朝鮮認識と西洋」(単) <『日本史研究』763号> |

著書等

| | |
|-----------|---|
| 2016年 11月 | (論文翻訳)鄭多函「“事大”と“交隣”と“小中華”という枠組みのTransnationalな脈絡」(単) <『東アジアの思想と文化』8号> |
| 2021年 3月 | (論文翻訳)卞恩眞・金貞和「日帝強制占領期、儒教団体機関紙の現況と性格」(単) <『東アジアの思想と文化』12号> |
| 2021年 3月 | (論文翻訳)鄭旭宰「『彰明』の構成と性格」(単) <『東アジアの思想と文化』12号> |
| 2023年 7月 | (著書)『〈文事〉をめぐる日朝関係史——近世後期の通信使外交と対馬藩』(単) <春風社> |

所属学会等

立命館史学会、日本史研究会、朝鮮史研究会、日本思想史学会、歴史科学協議会、日本経済思想史学会